

令和元年度 児童発達支援及び放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果

○公表日:令和2年6月23日

事業所名:丹波市通所支援事業所もみじ

※保護者アンケート回収率62.4%(回収53枚/配布85枚)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
A 環境・体制整備	1 ①子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	○活動等のスペースは、事業指定基準以上を確保しています。 ○室内は、物品等の配置を工夫し、利用児童の活動が行いやすいようにしています。 ○課題は、集団活動でのスペース確保を中心としており、個別対応が必要な場合のスペース確保があります。	○保護者アンケート結果 1:あてはまる 72% 2:ややあてはまる 13% 3:どちらでもない 13% 4:あまりあてはまらない 0% 5:あてはまらない 0% 6:未記入 2% ○ご意見 ・オープン時の何も無い時しか見ていない。 ・新しくなって快適な環境で活動させてくださっています。 ・春日にあったような数段を昇り降りできるような活動の場があれば、なおよい。	○保護者アンケートの結果では、85%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○事業所として、今後も継続して利用児童様が活動しやすいスペース確保や工夫に努めます。 また、現状評価欄に記載した課題について、引き続き事業者内での検討を行います。
	2 ②職員の配置数や専門性は適切である。	○職員数は、事業所指定基準以上の数を配置しています。 ※基準人数 児童発達支援:利用児童4人に対して指導員1人 放課後等デイ:利用児童5人に対して指導員1人 ○令和元年度は、年度途中での退職者がありましたが、基準人数の確保はできています。 ○専門性は、職員の通所支援事業の経験年数には差がありますが、資格(保育士、幼稚園教諭等)を持った職員を配置し、職員間の連携等により利用児童様への支援内容に差が生じないよう対応しています。	○保護者アンケート結果 1:あてはまる 60% 2:ややあてはまる 28% 3:どちらでもない 8% 4:あまりあてはまらない 0% 5:あてはまらない 0% 6:未記入 4% ○ご意見 ・職員の人数が増えればよいと思います。 ・職員の配置数は合っているのですか？ ・年度途中の利用のため、どのような専門職種の方がおられるのかが分からない。 ・分からない。 ・職員の方がしっかりとみてくださっているので安心です。	○保護者アンケートの結果では、88%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○事業所として、支援内容の質が保てるよう職員数の確保と職員一人一人の専門性の向上に努めます。 ○職員間の連携を強め、チームとして組織的な支援を行い、職員の経験年数による差が支援の差とならないように努めます。 ○現在も実施している、職員へのコーチング研修(臨床心理士による職員への支援方法に関する指導等。月2回程度)を継続し、専門性の向上に努めます。 ○事業所入口に職員の名前や職種等を紹介した「もみじこ通信」を掲示するようにしました。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
A 環境・体制整備	3	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされている。	○事業所内は、児童用の手すりの設置や段差の解消等によりバリアフリー化の配慮が行われています。 ○課題として、車椅子を使用時の手洗場のスペースが狭く、利用の際に職員によるサポートが必要な場合があります。 ○課題として、保護者アンケートのご意見欄にもあるように、事業所外に児童用の手すり設置が無い状況です。 また、駐車場から事業所までの距離も長く、ご不便をおかけしている状況があります。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 77% 2：ややあてはまる 13% 3：どちらでもない 4% 4：あまりあてはまらない 2% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 4% ○ご意見 ・特に午前中は車が多いので、車からミルネまでが遠く、歩き始めた子どもや兄弟がいると大変不便になります。 ・分からない。 ・室内は配慮されていると思うが、建物の階段に子ども用の手すりがあれば嬉しい。 ・新しくなって快適な環境で活動させてくださっています。	○保護者アンケート結果では、90%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○事業所内は、段差がない作りであること、児童用の手すりが設置がなされていること、多機能室(車いす対応のトイレ等)が設置されていること等のバリアフリー化の配慮がなされています。 ○設備を利用する際に使用しづらい状況がある場合は、職員によるサポートにより対応を行っていきます。 ○事業所外(丹波市健康センターミルネ共用部分)の児童用手すり設置等については、ミルネ全体での設備工事等が伴うものとなり早急な対応は困難ですが、施設管理部署には要望を伝えます。 ご不便をおかけしている点があり、申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○事業所内清掃は、業者委託(障害者就労継続支援B型事業所)により毎日実施し、清潔保持に努めています。 ○職員については、手指消毒剤の携帯や必要時のマスク着用や手袋着用により清潔保持に努めています。 ○集団活動における生活空間の確保は行っていますが、個別の状況に合わせた生活空間確保については、設備的に難しい面もありますが、パーテーション等で区切った対応等を行っています。		○現状評価欄に記載の内容を継続し、清潔保持に努めます。 ○児童一人一人の状況に合わせた空間の確保については、居室をパーテーション等で区切った対応等により、状況に合わせた確保に努めます。
B 業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○毎朝、事業開始前に出勤職員全員によるミーティングを開催し、日々の支援の振り返り等を行っています。		○短期目標に係るPDCAサイクルへの取り組みは出ています。 今後は、中長期的な課題の整理やPDCAサイクルの確立が必要であり、検討を進めていく必要があります。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
B 業務改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○第三者による外部評価は受けていません。 ※第三者による外部評価は、全国社会福祉協議会の「福祉サービス 第三者評価事業」による「兵庫県福祉サービス第三者評価機関」として指定されている評価機関による外部評価を想定しています。		○「福祉サービス 第三者評価事業」についての内容把握に努め、必要性を検討します。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○関係機関主催の研修に参加しています。 ○事業所独自で「臨床心理士による職員へのコーチング研修」等を実施しています。 ○市営の事業所であり、丹波市役所が職員育成として開催する様々な研修(人権研修等)に参加しています。		○現状の水準を保ち、継続して研修機会の確保に努めます。
C 適切な支援の提供	1	④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されている。	○保護者との面談により、状況等の聞き取りを行っています。 ○事業所の臨床心理士による専門的な分析や意見を反映しています。 ○保護者のニーズ把握について、大きな視点での聞き取りが中心となっており、今後は、細やかな視点での聞き取りが必要であると考えています。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 75% 2：ややあてはまる 23% 3：どちらでもない 2% 4：あまりあてはまらない 0% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・定期的に面談をしていただき、達成できなかったことなど、一緒に今後の目標を考えてくださるので、家でも取り組みを頑張ろうと思うことができます。 ・最初ではできなかったことも、じっくり対応してくださっているので、この半年でずいぶんできることが増えたと思います。子どもも嫌がらず通所することができているので楽しめているのだと思う。	○保護者アンケートの結果では、98%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○継続して、利用児童様と保護者様への丁寧な対応に努めます。 ○課題として、利用児童様の状況を中心に課題等の分析を行うことが多いため、保護者様のニーズ等の把握に努めます。 ○保護者様と接する様々な場面を活かして、コミュニケーションの機会を増やせるよう努めます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援計画の作成	○個別活動が重要と考えているため、個別活動が中心となる支援計画を作成しています。 集団活動は、個別活動を主体としながら組み合わせている状況です。		○継続して児童発達支援管理責任者を中心とした職員による協議、臨床心理士による専門的分析等を活用し、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画の作成に努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
C	適切な支援の提供	3 支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○支援内容は、具体的な内容になるように努めています。		○継続して具体的な支援内容の記載に努めます。
		4 支援計画に沿った適切な支援の実施	○支援計画の確認を行いながら、日々の支援を行っています。 ○支援内容で達成できたこと、できなかったことを記録しています。		○継続して支援計画の活用と適切な支援の実施に努めます。
		5 チーム全体での活動プログラムの立案	○日々の活動プログラムや長期休暇中の活動プログラムの立案は、職員全体で協議しながら決めています。		○継続して職員全体での協議により、より良い活動プログラムの立案に努めます。
		6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○平日、休日、長期休暇といった支援時間の長短に合わせた活動プログラムを作成し、効果的な支援となるよう努めています。		○きめ細やかな支援となるよう、支援時間を有効に活用できるよう努めます。
		7 ⑤活動プログラムが固定化しないように工夫されている。	○季節や状況に応じ、活動プログラムを見直し、固定化しないよう努めています。 ○臨床心理士からの専門的な意見を取り入れながら、柔軟に対応しています。 ○“静”と“動”の内容を含んだ活動プログラムとなるよう工夫しています。 ○放課後等デイサービスでは、活動プログラムが固定する場合がありますが、利用児童様に適した対応ができるよう努めています。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 64% 2：ややあてはまる 32% 3：どちらでもない 4% 4：あまりあてはまらない 0% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・はさみやのりを使った工作など、通園に向けて教えてくださっているの、家でも作りたいと言っています。	○保護者アンケートの結果では、96%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○活動プログラムが固定化しないよう継続して努めます。 利用児童様の状況によっては、活動プログラムを一定期間固定し支援することも大切であると考えております。 利用児童様の状況把握に努めながら対応いたします。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
C 適切な支援の提供	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○事業開始前の出勤指導員全員によるミーティングの場において、支援内容の確認や役割分担の確認を行っています。 ○ホワイトボードを事業所内に設置し、役割分担や支援内容を記載することにより、職員全員が視覚的に確認できるようにしています。		○適切な支援ができるよう、今後も継続して支援内容や役割分担の確認の徹底に努めます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○支援終了後も翌日の準備や記録等の業務対応に取り組む必要があり、朝のミーティングのような協議の場を設けることは出来ていない状況です。 ○支援終了後の翌日準備等の時間に関係職員間で状況を伝え合うように意識して取り組んでいます。 ○朝のミーティングにおいて、前日の支援状況等の情報共有に努めています。		○職員全体での情報共有について、朝のミーティングの場を引き続き活用していきます。 ○当日の支援の振り返り等について、効果的な取り組み方法の検討を進めます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○支援に関する記録の徹底に努めていますが、複数の職員で対応したときに記録が不十分なときがある状況です。		○記録漏れ等がないよう、記録様式の見直し、確認作業の徹底等による改善に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び支援計画の見直し	○定期的なモニタリングの実施と支援計画の見直しに努めています。		○児童発達支援管理責任者を中心とし、定期的なモニタリングの実施と支援計画の見直しに引き続き努めていきます。
D 関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○利用児童様を主として担当する職員によるサービス担当者会議への出席を行っています。		○引き続き職員の業務調整に努め、サービス担当者会議への確実な出席により、関係機関等との連携強化に努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
D 関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○主に保護者様からの聞き取り内容を中心に支援を行っています。 ○関係機関との連携による支援について検討する必要性を感じています。		○関係機関からの情報把握や連携した支援について、検討を進めます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○保護者様から提出いただく利用児童様の主治医による医療的ケア指示書や看護情報提供書(看護サマリー)等により、適切な状況把握に努めています。		○継続して適切な状況把握につとめ、より良い支援が行えるよう努めます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○関係機関との協議の場を設けるなど、連携に努めています。 ○丹波市が実施する、サポートファイルを活用し情報共有を行っています。		○継続して関係機関との情報共有を行い、学校等へ利用児童様が円滑に移行が行えるよう努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	○該当する事例はありませんでした。		○学校卒業後に利用される障害福祉サービス事業所への情報提供によって、利用児童様への適切な支援が継続して行えるものと考えます。 今後、相談支援事業所とも連携しながら、どのような方法が有効か等についての検討に努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
D 関係機関との連携	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○ひょうご発達障害者支援センターと連携し、保護者支援(ペアレント・トレーニング)の実施について指導・助言等を受けています。 ○関係機関で開催される研修受講を推進しています。		○職員の資質向上を目指し、専門機関との連携強化等に努めます。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	○事業所外での交流行事等の実施や参加実績はありません。		○支援計画に基づき、事業所内での支援を適切に行うことが重要であると考えています。また、時間的な制約等もあり、事業所外での交流行事の実施等は難しい状況です。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○交流行事等の実施や参加実績はありません。		○支援計画に基づき、事業所内での支援を適切に行うことが重要であると考えています。また、時間的な制約等もあり、交流行事の実施等は難しい状況です。
E 保護者への説明責任・連携支援	1	⑥支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされている。	○契約時やお迎え時等の保護者様とお出合いできる機会を活かし、対面での丁寧な説明を努めています。 ○職員による説明力の差が生じないよう、職員間での情報共有や説明力向上に向けた取り組みが必要だと考えます。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 64％ 2：ややあてはまる 21％ 3：どちらでもない 8％ 4：あまりあてはまらない 4％ 5：あてはまらない 2％ 6：未記入 2％ ○ご意見 ・丁寧に説明してくださり、管理していただいています。 ・こちらが尋ねるまで教えてくれなかった。	○保護者アンケートの結果では、85%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○継続して丁寧な説明に努めながら、より良い対応を目指して検討を進めます。
	2	支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○支援計画の説明を行う際には、支援計画を保護者様と職員で確認し、ご理解を得ながら説明を行うことに努めています。		○今後も継続して丁寧な説明が行えるよう努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
E 保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○児童発達支援を利用の保護者様を対象として、ペアレント・トレーニングを実施しています。		○今後も継続してペアレント・トレーニングを実施し、内容についても検証を行いながら、適切な支援が行えるよう努めます。
	4 ⑦日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている。	○お迎え時等の保護者様とお出あいできる機会を活かし、利用児童様の状況説明やご家庭での状況をお伺いするなどの共通理解に努めています。 ○職員での説明力や対応職に差が出ないように、職員間での情報共有や説明力向上に向け、さらなる取り組みが必要だと考えます。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 70% 2：ややあてはまる 19% 3：どちらでもない 9% 4：あまりあてはまらない 2% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・職員の方とお話した内容等を子どもに「先生がこんなことを言ってくれはったよ。」と伝えると喜び、子どもからも色々今日はこうだった、と楽しそうに伝えてくれます。 ・活動の様子を詳しく伝えてくださる方と、そうでない方がおられ、スタッフ全員での共通理解が出来ていないのかな？と疑問に感じます。 ・親が十分に伝えきれていないことがあるように思います。	○保護者アンケートの結果では、89%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○お迎え時等の保護者様とお出あいできる際に状況をお伝えしたり、連絡帳を活用したりして、今後も継続して利用児童様の状況について保護者様と共通理解ができるよう努めます。
	5 ⑧保護者に対して面談等の支援が行われている。	○事業所からの面談の設定や保護者様からの希望による面談等にも対応し、信頼関係の構築を心がけています。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 77% 2：ややあてはまる 13% 3：どちらでもない 8% 4：あまりあてはまらない 0% 5：あてはまらない 2% 6：未記入 0% ○ご意見 ・その都度、親身になって話を聞いてくださっています。 ・不安なこと、疑問に思っていること、なんでも話を聞いていただいて、助かっています。	○保護者アンケートの結果では、90%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○継続して支援計画の説明時やお迎え時等の保護者様との面談機会を設けるよう努めます。 ○保護者様からの面談希望にも対応いたしますので、ご希望の際にはお申し出ください。
	6 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○保護者様からのご相談があった際には、適切な助言等が行えるよう事業所内で検討し、お答えするようにしています。 ○事業所での適切な助言等が難しい際には、関係機関等のご紹介するなど、柔軟な対応に努めています。		○継続してよりよい対応を目指して、取り組んでいきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
E 保護者への説明責任・連携支援	7	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	○該当がありません。		
	8	⑨子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、迅速かつ適切に対応している。	○ご意見をいただいた際には、事業所内で共有し、組織的に対応するよう努めています。 ○保護者様からご意見をいただきやすい環境となるよう検討が必要です。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 68% 2：ややあてはまる 19% 3：どちらでもない 11% 4：あまりあてはまらない 2% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・丁寧に説明してくださり、管理していただいています。	○保護者アンケートの結果では、87%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○保護者様にとって分かりやすい体制を検討し、ご意見をいただける体制の構築に努めます。
	9	⑩子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。	○連絡帳やお迎え時の状況説明等により保護者様との情報伝達等に努めています。 ○利用児童への適切な支援を目指し、信頼関係の構築に努めています。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 68% 2：ややあてはまる 25% 3：どちらでもない 6% 4：あまりあてはまらない 2% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・どなたに聞いても、よく対応してくださるのですが、子どもの主担当の方が分かりません。 ・連絡ノートは毎回丁寧に記入してくださり、ありがとうございます。 ・その日の様子を連絡帳に書いてくださっているのが、子どもとの会話につながり、とてもありがたく思っています。 ・子どものことで気になる点や接し方等、尋ねたらなんでも教えてもらえるという安心感があり、とてもありがたく思っています。 ・丁寧に説明してくださり、管理していただいています。	○保護者アンケートの結果では、93%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○保護者様にとって分かりやすい体制を検討し、ご意見をいただける体制の構築に努めます。 ○「もみじっこ通信」にて職員の紹介を行い、事業所入口にも掲示し、職員の顔と名前を知っていただけるよう対応します。 ○連絡帳での情報共有は継続して行えるよう努めます。
	10	⑪定期的に通信等で、活動の様子を発信している。	○数か月に1回を目途に「もみじっこ通信」を作成し、保護者様にお渡ししています。 ○紙面をカラーにし、活動写真等が見やすくなるよう工夫を行いました。 ○発行頻度や内容は事業所内でも検討を重ねながら、よりよいものとなるよう努める必要があります。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 77% 2：ややあてはまる 19% 3：どちらでもない 4% 4：あまりあてはまらない 0% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・移転後、カラーになってとても見やすいです。 ・もっと施設内での様子が知りたいです。 ・お友達が写っていると、〇〇ちゃんと教えてくれます。	○保護者アンケートの結果では、96%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○「もみじっこ通信」を中心に活動内容の発信に努めます。内容等については、事業所内での検討を行いながら、よりよいものとなるよう努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
E 保護者への説明責任・連携支援	11	⑫個人情報に十分注意している。	○利用児童様に係る支援記録等は事業所内のロッカーに保管し、施錠を行っています。 ○市営事業所のため、市が定めた個人情報取り扱い基準を遵守しています。 ○職員が使用するパソコンについても、市から貸与されたもののみを使用し、組織的な情報管理を受けています。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 70％ 2：ややあてはまる 21％ 3：どちらでもない 8％ 4：あまりあてはまらない 2％ 5：あてはまらない 0％ 6：未記入 0％ ○ご意見 記載はございませんでした。	○保護者アンケートの結果では、91％の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○職員の個人情報に関する知識や意識の向上等が図れるよう努めます。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○事業所の移転に伴う各種マニュアルの整備や見直しを行います。 ○職員や保護者への周知についても検討を進め、適切な対応を行います。		○事業所の移転に伴う各種マニュアルの整備や見直しを行います。 ○職員や保護者への周知についても検討を進め、適切な対応を行います。
F 非常時等の対応	2	⑬非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練・啓発が行われている。	○令和元年度は、丹波市健康センターミルネとして年2回、事業所として年2回の避難訓練を行いました。	○保護者アンケート結果 1：あてはまる 64％ 2：ややあてはまる 19％ 3：どちらでもない 11％ 4：あまりあてはまらない 0％ 5：あてはまらない 2％ 6：未記入 4％ ○ご意見 ・何度途中からの利用のため、まだ引き渡し訓練等を受けたことがありません。 ・子どもに「もみじ内の移動は手をつないで」と教えてくださっているので、外出した時も手をつないで落ち着いて歩くことができるようになりました。 ・行われていると思いますが、あまり把握していません。 ・分かりません(3件)	○保護者アンケートの結果では、83％の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○利用児童様の個々の状況に応じた避難対応がスムーズに行えるよう、職員の対応能力向上を目指した訓練実施に努めます。 ○保護者様への周知については、「もみじこ通信」等により行うよう努めます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○丹波市主催の研修会に管理者と児童発達支援管理責任者が参加しました。 ○全職員への研修機会の確保等は行えていないため、どのような対応が可能なかを検討する必要があります。		○事業所として、職員の虐待防止に関する知識取得や意識向上に向けた取り組みについて、どのような対応が出来るかについての検討に努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
F 非常時等の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での支援計画への記載	○身体拘束を行った事例はありません。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○事業所で食物を提供する場合は、必ず保護者様に確認して対応しています。		○利用児童様の状況把握に努め、適切な対応に努めます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○職員ミーティング等で情報共有を徹底しています。 ○文書報告が必要な場合は作成し、職員全員で確認を行っています。		○ヒヤリハット事例を効果的に事業所内で情報共有できる仕組みを検討します。
G 満足度	1	⑭子どもが通所を楽しみにしている。		○保護者アンケート結果 1：あてはまる 72% 2：ややあてはまる 19% 3：どちらでもない 9% 4：あまりあてはまらない 0% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・子どもに「風邪だからお休みしましょう。」という、泣いて「行きたい。」と言いました。 ・課題が難しかったりして、子どもの気持ちに乗らない時も職員の方が明るく接してくださるので嬉しいです。	○保護者アンケートの結果では、91%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○事業所として、利用児童様への適切な支援を行いながら、通所を継続していただけるよう努めていきます。
	2	⑮事業所の支援に満足している。		○保護者アンケート結果 1：あてはまる 79% 2：ややあてはまる 17% 3：どちらでもない 4% 4：あまりあてはまらない 0% 5：あてはまらない 0% 6：未記入 0% ○ご意見 ・いつもお世話になっています。 ・子どもの日々の成長をみると、本当にみじに通わせていただいたおかげです。ありがとうございます。 ・施設外での活動や外遊びができるという、と思うのですが。夏のプールを復活してください。	○保護者アンケートの結果では、96%の方が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答いただきました。 ○事業所として、継続して利用児童様や保護者様に満足していただけるような運営に努めます。